

# 小麦の製品収量向上に向けた基本技術の実践

## 基本技術の積み重ねに優る技術なし！

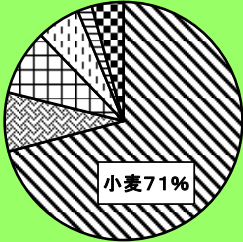
活動年次：令和3～4年

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

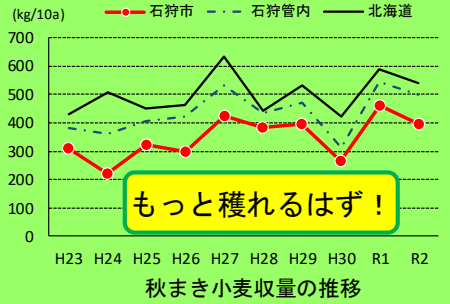
### 1 課題設定の背景 \*\*\*\*\*

対象：JAいしかり 小麦作付け農業者66戸(746ha)

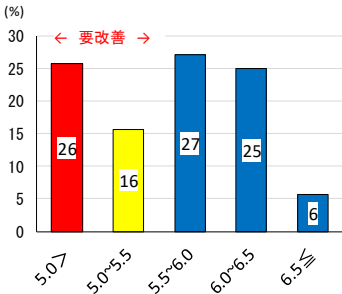
- 麦類
- そば
- ばれいしょ
- 豆類
- てんさい
- その他



経営に占める割合が大きいからたくさん穫りたいなあ



もっと穫れるはず！



42%が要改善！



考えられる要因は！

		R2	R1	H30
穂数 (本/m <sup>2</sup> )	石狩市	800	876	728
	目標	550~700		
千粒重 (g)	石狩市	38.5	38.8	34.1
	石狩管内 平年値	40.2	40.4	39.4

穂数過多、千粒重軽い！(秋まき小麦)

### 2 活動の経過 \*\*\*\*\*

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●定点調査ほ設置・生育調査				●土壌断面調査					●リーフレット作成		
				●収穫調査	●除草剤展示ほ設置						
		●新品種栽培講習会	●秋小は種床調査						●重点地区研修会		
FAX情報発信	※	※	※	※	※						※

#### 地域に合った新品種「北見95号」栽培研修会(6月)

菓子メーカーから要望 倒伏にも強いです！



#### 土壌調査実施(8月)

根は40cm位しか入っていないなあ



40cmより下は未熟泥炭ですね



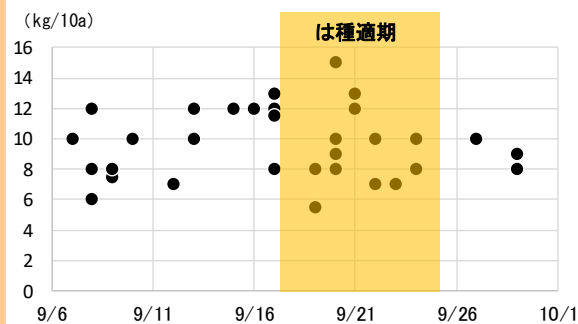
# 1株あたりの茎数のバラつきが多い、は種深度はいかに！



作業機幅のは種深度を測定

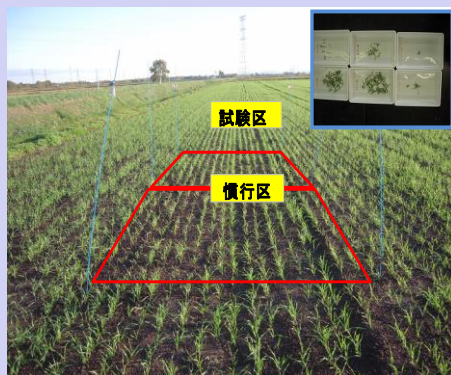


は種深度5cm以上で2段根発生！



は種期に応じたは種量になってない  
→穂数過多要因

## イネ科雑草に効く除草剤の検討



### 3 活動の成果

深まき防止対策としては種前鎮圧を実施する農業者が増加！

#### 深まき防止対策事例

Before 耕起→碎土・整地（ロータリ）→は種  
↓  
After 耕起→碎土・整地（ロータリ）→鎮圧→は種



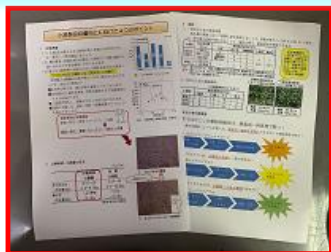
×フカフカは種床



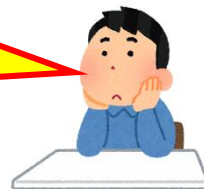
○カルチパッカーローラ使用例

#### JAと協力してリーフレット作成

は種八分作です



1工程増えるけど、やる価値はあるなあ



### 4 今後の活動

- 起生期茎数に応じた施肥時期、施肥量の提案と定点ほ場の葉色値の測定、除草剤試験ほ場の効果確認（4～5月）。
- FAXによる技術情報の提供（随時）。
- は種機の調整、排水対策についての現地研修会の実施（8月）。
- は種時期に応じたは種量の提案（9月）。